

<報道関係各位>

2021年3月1日  
株式会社日本遮断技研

## 人工知能カメラを用いた獣種を判別できる罾連動警報通信システム 「あいわな」、福島県内で3月8日(月)からリース契約開始

株式会社日本遮断技研(本社:福島県郡山市富田町、代表取締役 平山泉)は、3月8日(月)から、箱罾に設置することで成獣イノシシを独自に判断して罾を作動させる獣害対策用画像認識 A.I.搭載のワナ連動通信システムを「あいわな」として福島県でのリース契約を開始いたします。

本体購入の場合は、契約者ご自身で必要だった売買契約、通信キャリアとの契約、損害保険契約が、リース契約ではセットとなっており、初期コストを低く抑えたままで運用が出来ます。本サービスは、福島県内の市町村自治体、農業法人、また農業従事者などを対象に普及推進をめざしてまいります。

福島県内のイノシシによる農作物などの被害額<sup>※</sup>は、平成29年度で7,880.4(万円)、平成30年度9,820.1(万円)、令和元年度が10,417.2(万円)と大きく、年々拡大しております。従来のイノシシ害対策には箱罾などが利用されてきましたが、数日に1度の割合で設置した罾檻の見回りが必要(餌がなくなった、檻の扉がしまったなどの確認等)で労力がかかる、成獣イノシシ以外の動物の錯誤捕獲もある(特にクマがかかる場合があり危険)などの課題がありました。さらには通学途中の小学生が襲われケガをするなどの事故も発生しています。

今回のサービスでは、昨年、一般社団法人新生福島先端技術振興機構が開発した成獣イノシシを判断して罾を作動させる獣害対策用画像認識用 A.I.システムを用いています。ハードウェアの製造からシステム運用・保守、リース対応などをパッケージ化して、サービス名を「あいわな」として販売します。事業主体、営業・販売、保守契約等については当社が担当、システム製造は新生福島先端技術振興機構と株式会社三和製作所が受持ち、リース契約は株式会社日本遮断技研が指定するリース会社が担当します。

※福島県 HP 参照 (野生鳥獣による農作物の被害状況について)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/gaijyu-top.html>

■ 報道の方のお問い合わせ先

日本遮断技研 担当:木戸 / TEL:0120-728-121 / Email:support@iwana-f.com

# 人工知能を活用したイノシシ対策サービス「あいわな」 概要

## ■ サービス概要

人工知能を活用したイノシシ対策サービス「あいわな」は、一般社団法人新生福島先端技術振興機構が福島県ロボット関連産業基盤強化事業の採択を受けて開発した、成獣イノシシを判断して罠を作動させる獣害対策用画像認識用 A.I.システムを用い、このハードウェア製造、システム運用、リース対応などをパッケージにしたサービスです。



※設置イメージ



※成獣イノシシを判断します

○基本システムは昨年9月に新生福島先端技術振興機構が製品化した獣害対策用画像認識用 A.I.システムを用います。これは24時間システムが箱罠を監視、捕獲の判断は A.I.がおこない、カメラ画像で成獣イノシシを A.I.が判断すると罠(檻)を作動、捕獲をユーザーにメールで報告します。イノシシ以外の動物が箱罠に入っても扉は締まることはありません(画像はメールで送付)。そのため捕獲の見極めが簡単で、見回りの労力は少なく、危険度(成獣イノシシではなくクマがかかった場合)も低減されます。本システムは従来から設置されているイノシシ用の箱罠に後付けでシステム設置することも可能です。

## ■ 料金形態

### ○リース契約の場合

初期費用をお求めやすい価格に抑えたリース契約です。

料金は、例えば5か年運用の場合、工事費、初期設定費、通信費、保守契約費、損害保険料ソーラー発電システム使用料等を含み1セットの目安で月額2万円～になります。(個別の設置環境・条件の確認後に料金設定)

※箱罠本体費用は別途 ※消費税別

### ○システム購入の場合

システムの一括購入の場合、工事費、初期設定費を含み、費用は1セットの目安として100万円からとなります。(個別の設置環境や条件の確認後に料金設定)

※通信費、損害保険料、初期契約費ならびに箱罠本体費用は別途 ※消費税別

## ■ 販売日

令和3年3月8日(月)からサービス販売開始

## ■ 株式会社日本遮蔽技研 概要

東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故の後に、福島県で生まれ育った創業社員がその友人たちの協力の下で創業したベンチャー企業です。環境中のセシウム等の測定、生活環境の線量率の測定などの分野において、測定の信頼度の向上、測定現場での取り扱い性能の向上などを図るための測定装置の開発。従来測定しにくいような測定対象、測定場所での測定装置の開発を進めるとともに、これらの測定装置、および汎用性のある測定装置の維持管理等に関するサービスなどを展開します。

- 設立： 平成22年3月 創業：平成23年8月
- 資本金： 28,004,000円
- 代表者： 代表取締役 平山 泉
- 本社： 福島県郡山市富田町権現林11番地

## ■ 一般社団法人新生福島先端技術振興機構 概要

福島県内にて先端技術の評価及び集約、既存技術の革新をもって、人類に役立つ適切な技術を醸成することを目的に、技術審査、技術検証、知的財産権の醸成、ロボット制御技術の研究・開発、ロボットの設計・製造・販売促進センサー技術の研究・開発、ソフトウェア開発ほかを行います。

- 設立： 平成27年3月
- 所在： 福島県安達郡大玉村大山字東78
- 代表： 代表理事 齋藤 雄一郎(株式会社三和製作所 代表取締役)
- 会員： 株式会社エムケー技研  
株式会社三和製作所  
株式会社日本遮蔽技研  
平井神津国際特許事務所特許法人  
山北調査設計株式会社  
ワイケーテクノ  
Wire 株式会社

※<https://www.sentangijyutu.org/e8.html>

※掲載は50音順